

# 科学技術の潮流

JST研究開発戦略センター

314

ドイツではAI（人工知能）領域に特化して起業を支援するプログラムがある。パイロット版の実施で成果を上げ、全国展開することになった支援策は注目に値する。

## 独、AI領域の起業支援

### ユニコーン33件

ドイツスタートアップ協会によると、2024年に約3000社のスタートアップが誕生した。23年と比較して11%増、25年も上半期だけで前年同期比9%増となり、起業活動が活発化している。こ



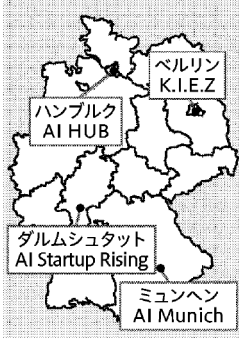
科学技術振興機構（JST）研究開発戦略センターフェロー（STI基盤ユニット） 澤田 朋子  
00年にミュンヘン大学政治学部大学院修了（国際政治学専攻）。帰国後はIT系ベンチャーでウェブマーケティング事業の立ち上げに参加。14年から現職。

ていると評価されている。米CBインサイト（25年）では、ドイツのユニコーン数は33件で、日本の8社を上回っている。連邦政府の「スタートアップ戦略」（22年）学発スタートアップ支

### 日本に应用期待

内4拠点を選定し、研究者、起業チーム、地域産業をマッチングしAI領域に特化した起業支援のモデルプロジェクトが実施された。

### EXIST AIモデルプロジェクト 4拠点



事業	事業の特色
AI HUB	専門知識とリソースのハブ化
AI Startup Rising	大学を拠点とした起業支援のモデル化
K.I.E.Z	アプリ開発のアイデアスカウトと事業加速
AI Munich	実用的なアプリケーションとプロトタイプ製作の支援

【出典】連邦経済エネルギー省（BMWE）のウェブサイトに基づき研究開発戦略センター（CRDS）作成

AI Nation

産学連携が盛んなダルムシュタット工科大学を拠点に起業支援のモデル化を進めたAI Startup Rising、国内の起業E、Z、産業拠点ミュンヘンで機械や医療デバイスのプロトタイプ製作支援に実績のあるAI Munichで果を上げたK.I.E.Z. 終了する同プロジェクトは、ベルリンとミュンヘンの拠点を統合してソフトとハードの両面を支援するAI Nationとして生まれ変わり、起業支援を続ける。

するものが約6割を占める。特に既存産業とエコシステムの強化。スタートアップの技術開と支援を政府全体の中グラムを主としてい化を試みたハンブルク発における連携は、経済的な目標の一つと位る。この枠組みで20のAI HUB、デジタル全体に好影響を与え、置付け、大学における21年から5年間、国

（金曜日掲載）